



令和4年1月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,374億円（対前年同月比2.2%の減少、比率ベース：2カ月連続の減少）、輸入総額は975億円（同24.1%の増加、12カ月連続の増加）であった。差引額は400億円（同35.5%の減少）の輸出超過で、2カ月連続の減少となった。

品目別では、輸出は「二輪自動車類」、「原動機」などは増加したものの、「無機化合物」、「加熱用・冷却用機器」、「非鉄金属」などが減少した。

輸入は「金属鉱及びくず」、「魚介類及び同調製品」などは減少したものの、「液化天然ガス」、「がん具及び遊戯用具」、「プラスチック」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」が減少、「EU」、「アメリカ」は増加した。輸入は「アジア」、「EU」、「アメリカ」が増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,374億円	▲2.2%	975億円	+24.1%	400億円	▲35.5%
	2カ月連続の減少		12カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)二輪自動車類	131億円	+55.5%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	134億円	5.5倍	
		(2)原動機	195億円	+30.5%			(2)がん具及び遊戯用具	33億円	5.4倍	
		(3)自動車	19億円	9.0倍			(3)プラスチック	37億円	+84.2%	
	減少品目	(1)無機化合物	7億円	▲83.0%		減少品目	(1)金属鉱及びくず	3億円	▲94.6%	
		(2)加熱用・冷却用機器	31億円	▲28.8%			(2)魚介類及び同調製品	108億円	▲12.9%	
		(3)非鉄金属	21億円	▲34.9%			(3)自動車の部分品	15億円	▲47.6%	
	主要地域 増減	アジアが減少、EU、アメリカは増加				主要地域 増減	アジア、EU、アメリカが増加			

（参考）ドルレートは、114.82円（前年同月比10.9%、11.25円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	8億円	+6.3%	24億円	2.9倍	▲16億円	20倍
	5ヵ月ぶりの増加		2ヵ月ぶりの増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)	電気計測機器	266百万円	全増	輸入	増加品目	(1)	石炭	981百万円	全増		
		(2)	無機化合物	85百万円	+56.3%			(2)	有機化合物	278百万円	全増		
		(3)	ポンプ及び遠心分離機	30百万円	5.6倍			(3)	パルプ	457百万円	2.3倍		
	減少品目	(1)	金属鉱及びくず	—	全減		減少品目	(1)	魚介類及び同調製品	56百万円	▲47.6%		
		(2)	有機化合物	—	全減			(2)	非金属鉱物製品	—	全減		
		(3)	写真用・映画用材料	194百万円	▲18.9%			(3)	バッグ類	—	全減		
	主要地域 増減		アジアが増加、EU、アメリカは減少					主要地域 増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				
									アジア、アメリカが増加、EUは減少				

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	197億円	▲27.9%	42億円	3.6倍	155億円	▲40.6%
	5ヵ月連続の減少		13ヵ月連続の増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)	楽器	2,516百万円	+31.4%	輸入	増加品目	(1)	原動機	928百万円	全増		
		(2)	運動用具	298百万円	9.4倍			(2)	鉄鋼	918百万円	5.3倍		
		(3)	非鉄金属	128百万円	+73.0%			(3)	プラスチック	342百万円	33倍		
	減少品目	(1)	自動車	6,774百万円	▲30.1%		減少品目	(1)	絶縁電線及び絶縁ケーブル	—	全減		
		(2)	自動車の部分品	3,163百万円	▲20.3%			(2)	精油・香料及び化粧品類	6百万円	▲43.3%		
		(3)	電池	12百万円	▲95.6%			(3)	加工油脂及びろう	—	全減		
	主要地域 増減		EU、アジアが減少、アメリカが増加					主要地域 増減	アジア、EU、アメリカが増加				
									アジア、EU、アメリカが増加				

4. 静岡空港

輸出入実績なし